

婦人科領域の粘膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療の概要

プロトコール番号:1808-3

治療プロトコール	婦人科領域の粘膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療 1808-3
対象	外陰・膣・子宮頸部など婦人科領域原発の粘膜悪性黒色腫
治療方法	総線量 57.6 Gy(RBE)/16回/4週+DAV療法同時併用 *チェックポイント阻害剤や分子標的薬、DAV以外の化学療法投与既往例では重粒子線治療単独とする
適格条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計測可能な組織学的に証明された婦人科領域原発の粘膜悪性黒色腫(皮膚に広く病変が浸潤するものは除外する) 2. リンパ節転移が鼠径リンパ節、骨盤内リンパ節にとどまっており、同一の照射野で治療が可能である 3. チェックポイント阻害剤や化学療法投与後 4 週間経過、分子標的薬投与後 2 週間経過している 4. Performance Status (ECOG) 0-2 5. 手術不適例または手術拒否例 6. 活動性の重複癌がない 7. 本人に病名・病態の告知がなされており、かつ本人に同意能力がある
不適格条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 膀胱浸潤・直腸浸潤を有する 2. 照射領域に活動性または難治性の感染を有する 3. 重篤な合併症(例えば制御困難な心疾患・高血圧・糖尿病、難治性の感染症、急性期の消化性潰瘍、制御困難な精神病など)を有する 4. 医学的・心理学的または他の要因により不適当と判断された場合
治療の種類	先進医療